

# 05

阪南大学和泉研究室と取組む文化財を活かした地域づくり ニュースレター

阪南大学国際観光学部 和泉ゼミが考えた 泉南市での

## 観光まちづくりプラン公開プレゼン！

日時：令和元年5月14日（火）

10:00～12:00

場所：泉南市埋蔵文化財センター

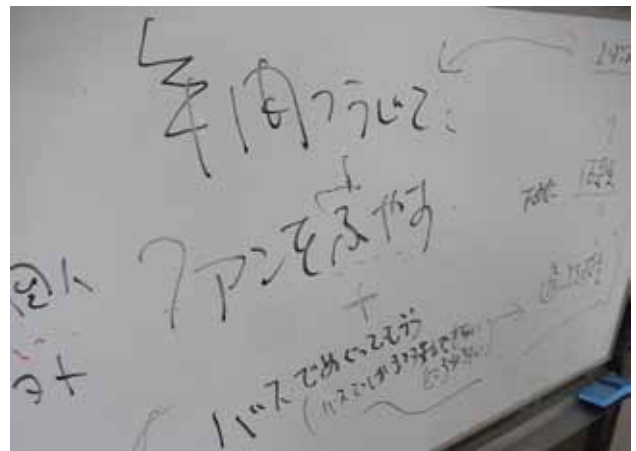
参加人数：19名

### ■〇〇を〇〇するために〇〇をする

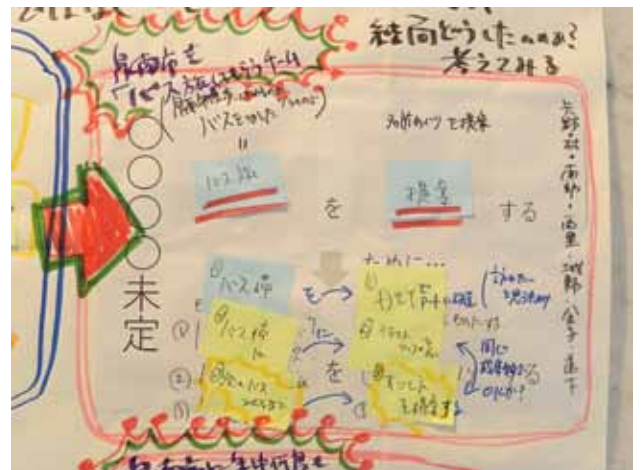
阪南大学の学生さんを変えての前の話し合いでは、3つグループにわかれて、模造紙に書ききれないほどのアイデアが出されました。

たくさんのアイデアが出されたということは、つぎはアイデアをまとめていく作業が必要。目標は企画の実現であることから「あれもこれも」のままでは話がそこで止まってしまうからです。

ということで、今回はアイデアをまとめるために必要な「方向性（〇〇を〇〇するために）」と「方法（〇



〇する)」を考えることにしました。アレもしたいコレもしたいアイデアを、誰もが納得するかたちに仕上げたいからです。



チーム「〇〇〇〇」のアイデア

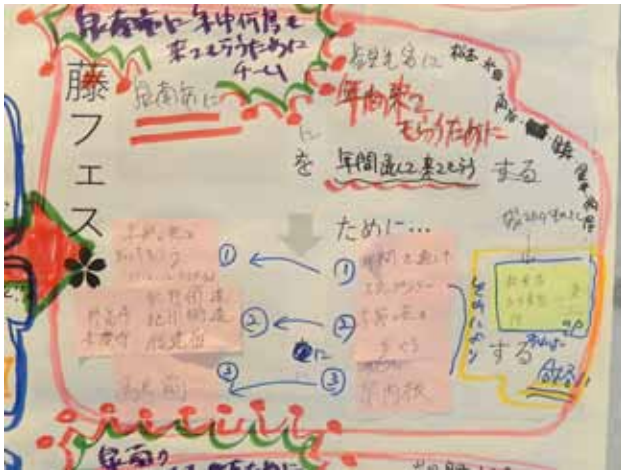
の。目を惹くバス停（＝たくさんの人がそれを見にやってくる）を市民で作成（＝そのバス停に対するオーナーシップを醸成）し、にぎわい創出につなげることを目標とするそうです。ここを起点に、コミバスをつかった市内各所めぐり（＝「バス旅」）へと話が発展。3つの具体的な取り組みにまとめられました。

前回出来上がった3つのグループに分かれての話し合いの結果をまとめたもの。この日参加した19名の方々が「〇〇〇〇（名称未定）」、「藤フェス」、「山田家と信達宿活性化PJ」に分かれて考えた結果です。

### 「バス旅」を提案するために…

チーム「〇〇〇〇」の原案のひとつが、コミバスを活用した魅力発信。これは、コミバスに自由にお絵かきし、アートなバス停を市内各所に設置するも

「バス旅」の必要になるのは、市内は徒歩での観光は困難なため。「バス旅」の中身とは、①アートなバス停を設置し、そのバス停を訪れたいと思うきっかけづくり、②バス停にイラストマップを設置し、いつでも自由に引率者なしでも町歩きができる環境を整え、③次のバスが来るまで、もしくはほかのバス停まで移動するまでの間に「何らかの体験」をと



チーム「藤フェス」のアイデア

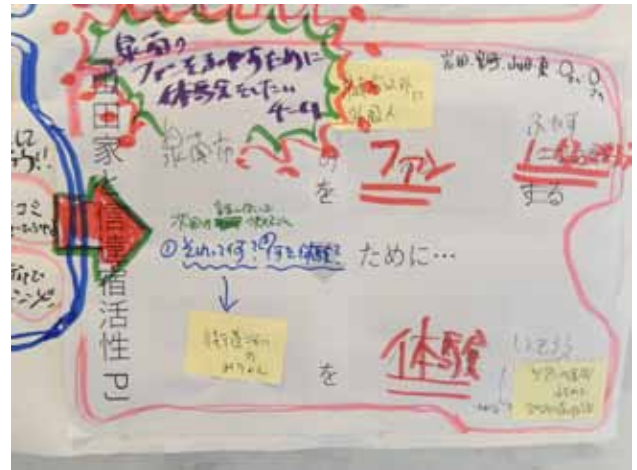
なうプランを用意するというもの。

事務局担当も大賛成のアイデアで、本数の少ないコミバスだからこそ、次のバスを待つ間どっぷり体験に浸れる時間を確保でき、体験を指導してくれる、キャラのたつ地元の人を探してみてもいいのかも？と想像が膨らみました。

泉南市に年間通じて来てもらう…

チーム「藤フェス」の原案のひとつが、花推し。泉南市には、梅、さくら、藤、ハマヒルガオ、あじさい、しょうぶ、バラ、ハス…ときれいな花がありそれを見に続けて訪れてほしい(=藤だけしか来ない)との願いから、年間を通して来てもらうためのプラン作りに発展。ここを起点に、泉南市に年間を通して来てもらうための具体的なアイデアだしに発展しました。季節ごとに咲く花を見に来てもらうためのスタンプラリー、熊野街道を何度も訪れてもらうために、街道沿いに季節の花を並べる、どこに何があるのかを知ってもらうために駅前に案内板を設置するなど。そもそも何度も訪れてもらう目的は「飲食店などの売り上げアップ」。どれだけ収益があがったのかが成功の物差しだとのこと。

事務局担当としては、街道沿いにハスの花を並べてみる、滞留してもらうために床几をおいて、ポップアップの飲食店(冷たい牛乳屋さん、ハスソフト



チーム「山田家と信達宿活性PJ」のアイデア

クリーム屋さん)などを置いてみたらいいのかも想像がふくらみます。

泉南市のファンを増やすために…

チーム「山田家と信達宿活性PJ」の強い思いが泉南市の歴史を知ってもらい、ファンになってもらいたい!との気持ち。一押しが熊野街道沿いの歴史と景観で、外国人を含む市外の人にファンになってもらいたいそうです。でも一方的に泉南市の歴史の魅力を伝えるだけでは望み薄なので…何らかの体験をしてもらおう!との結論に。さらに泉南市のファンづくりのため、①メディアでの露出を増やす、②口コミを意識するとの意見に。

結局まとまったのは、熊野街道沿いの歴史や文化を、体験をとおして理解してもらうプログラムを考えること。目指すは、旅行会社への企画の持ち込みです。

事務局担当も体験プログラムは大賛成。たとえば…〇〇農園での水ナスの収穫体験→〇〇農園宅での収穫したての水ナスをつかった料理教室など、水ナスを売るのではなく、体験を売ることを意識したら楽しいものができそうです。

じれったい話が続きますがもう一息

いまは、アレもしたいコレもしたいを一つにガッチャンコする大事な作業。もう一息です!

【次回のご案内!】今回のアイデアをもとに、みなさんと企画づくりから、プランの実施を目指します。

【日時】7月9日(火)午前10時~正午

【場所】埋蔵文化財センター

この取り組みに 参加してみたい方大歓迎です!  
問合せ・ご意見は、泉南市埋蔵文化財センターまで

TEL:072-483-6789

メールアドレス: maibun@city.sennan.lg.jp